

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 7 月 22 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 30 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 21 年度第 4 回)		
出席者	田中明会長、石坂副会長、荒木委員、石井委員、石黒委員、岩木委員、岡村委員、金井委員、木内委員、清水委員、竹内委員、竹田委員、中村委員、西川委員、西村委員、宮崎昭子委員、宮崎勝義委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員(全員出席) (事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査 (説明者)高橋地域交通政策課長、大熊国道バイパス係長		
会議次第	1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹) 2 会長あいさつ 魅力アップ応援事業では補助金を使いながら、各地でいろいろな事業が具体的に行われている。地域ごとの伝統的な事業や、次世代に伝えていきたい事業など、いろいろな形がある。皆さんには引き続き関心を持ち、ご相談を受けていただくようなお立場でお願いしたいと思う。今日は、「上田 道と川の駅」について地域交通政策課より説明をお受けする。今日もよろしくお願いしたい。 3 会議事項 (1)「上田 道と川の駅」の整備計画について 資料:「国道 18 号 上田バイパス・上田坂城バイパス関連道路図」 「上田 道と川の駅 計画平面図」より地域交通政策課から説明 【主な質疑等】 (委員)農産物の販売については、地域からの声が上がったところで、市や農協に入っていていただいて検討するのは、結構なことだと思う。今、太鼓や若い人たちの楽器の公害が非常に大きい。多目的ホールを開放された施設にできないか。 (担当課)農産物の販売については、関係の皆様と協議をして進めていく。多目的ホールについては、通常 100 人程度の会議ができる広さで、簡単に片付けられる形の机といすを用意する予定だ。太鼓の練習やバンドの練習に開放できるかどうかについては、まだ細かい維持管理の内容についての規定も決まっていないので、		

これから詰めていく。

(委員) 今は、武石に行って太鼓の総合的な練習をしている。現状では、土日を利用して練習しているが、土日は子どもさんがサッカーや野球など、ほかの活動に行ってしまう、まとまって練習ができない。夜になると、太鼓に毛布をかけて音かなるべく出ないようにしている。是非ご検討いただきたい。

(担当課) 検討したい。

(会長) 防音対策も検討の中に入れていただきたい。

(担当課) 今の設計の中には入っていない。

(委員) 防音装置まで考えると予算的に大変になるので、開放していただくということでもいいのではないかと。今後建替え予定の城南公民館にも、その問題は出てくると思う。城南公民館でも、上田のアンサンブルオーケストラの練習場に開放したことがある。住宅に囲まれているので、遠慮をしながら音を出していた。最近は東御市に練習場ができたので、そちらで練習をしている。ブラスバンドや太鼓も盛んなので、利用できるような方法を考えていただけたらと思う。

(会長) ヘリポートは日常ではどのような状態なのか。

(担当課) 柵は一切作らない。コンクリートで 40m 角のものを作るとのことだ。消防から、防災の拠点として整備するのであれば、ドクターヘリの一定の場所を確保して欲しいと要請が来た。災害時は当然だが、上田市では通常ドクターヘリが頻繁に飛んでおり、この場所は道路のアクセスにも良い。

(会長) バイクの練習場や、他の利用をされるなど、その辺の管理はどうなるのか。

(担当課) 基本的に日中は管理人がいる。国のほうは管理人を置かないので、国のほうの施設の開け閉めは、上田市の施設の管理人がやらなければならない。道の駅には一般的に駅長さんを置き、その方が、通常の管理をやっている。夜間の管理については、国のほうと相談をしてセキュリティーをどうするのか検討していく。国のほうは、24 時間防犯カメラで監視をしていくと言っている。上田市のほうでも何らかの対策を取らないと心配なところはあると思う。

(委員) 道の駅と川の駅の通路はスロープで行かれるのか。階段では問題もでてくる。

(担当課) 川の駅側のほうと道の駅側のほうで、段差が 3~4m くらいある。現在の図面では階段になっている。ウォーキングコースなので、スロープで行き来できるようなコースを作っていく必要がある。

(委員) 今から進められると思うことは、利活用についての案を考えることだと思う。この環境にあった運用、利活用について、交流会やイベントに参加しながら、皆さんと検討していく体制が取れば良いと思う。個人や団体でそのような活動に参加していただき、利用案や意見を市や国と協議をしながら、次の活用に生かしていけるといいのではないかと。一緒に参加しながら意見を出していけるような体制作りを、地元でできればいいと考えている。

(会長) 駐車場の周辺には、植栽をするのか。

(担当課) 植栽については、国で整備をする部分になる。どういう木を植えるかは国で検討している。

(会長) いろいろな奉仕団体が記念に木を植えることに協力している。希望者に声をかけるのはどうか。地元で奉仕したいという思いの方がたくさんいる。

(担当課) 国でも、出来れば地元からそのような声が上がってくると、ありがたいと思う。しかし、維持管理も地元でということになってしまうので、国と協議をしているところだ。

(2) その他 事務連絡

4 次回会議開催について

平成 21 年 8 月 19 日 (水) 開催予定

5 分科会の開催

6 全体会の開催

【分科会協議内容の発表】

- ・ 第一分科会 : 「上田道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点づくり」
上田道と川の駅で、何かいい利活用はないかと、皆さんの意見を集めるような役割からスタートしたい。
- ・ 第二分科会 : 「人や自然にやさしい交通機能の整備」
道と川の駅について、緑もあり、立地的にもいい場所なのでバイク等の溜まり場にならないように、防犯的な対策も考えなければならないという意見が出た。
アリオの関係では、松本や長野方面からも集客したいということなので、その方面の道路やわき道も混雑してくるのではないかと。整備の必要があるのではという意見が出た。
- ・ 第三分科会 : 「歴史的・地域的資源の活用」
「自然と共生を目指す里山の再生と農地の保全」
上田市総合計画の「自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全」の中で、人と自然との調和したまちづくりを目指します、また「歴史的・地域的資源の活用」の中では、地域の宝をまちづくりに生かします、とまちづくり方針が述べられている。第三分科会としては、地域まちづくり方針を実現することが役目だ。地域にどのような宝があり、このような地域なのだと思われたいと住民が認識できることが、

私たちの役割なのではないか。自治会や小中学校に積極的に地域の資源についてアプローチしていくには、地域のまち歩きマップが必要になってくる。公民館の講座にも利用でき、外部から来る観光客の方たちに、城南地域を歩いていただく時の手助けにもなる。マップ作りの基礎になるものを作っていきたいという結論になった。

・第四分科会：「地域で子どもを育てるまちづくり」

学童保育の問題を調査しながら進めようということになった。分科会を2回開催し、学童保育の現状について、詳しい話を聞いた委員さんが説明に来てくれた。大変勉強になった。結論的にいうと、全市的な問題で、城南地区だけで朝日ヶ丘児童館だけを取り上げるというのは、協議会の立場からどうかということになり、現状ではもう少し調べた上で、全体の動きを見ながら進めていこうではないかということになった。市では、1学校1クラブの児童館を設置する予算付けが確保されたということだ。また、実際に城下小学校から朝日ヶ丘児童館までの距離がどのくらいあるか、後日視察する予定だ。新聞記事によると、国の動き方としては、70人以上の大規模な学童保育は、補助金を廃止する方向に進んでいるようだ。50人単位で区切るとなると、分館が必要になる。新しい施設を建設するには予算の問題があり難しい。既存の施設を利用する方向に進んでいる。市の方策では、全てに指定管理者制度を導入し、利用者サービスの質の向上を図ると書いてあるが、移行するには数年かかるのではないかと思う。現在、地域や施設によって性質や内容が異なっており、サービスを受ける市民にはわかりにくい制度になっている。学童保育の問題については、分科会として引き続き協議をしていく。

閉 会